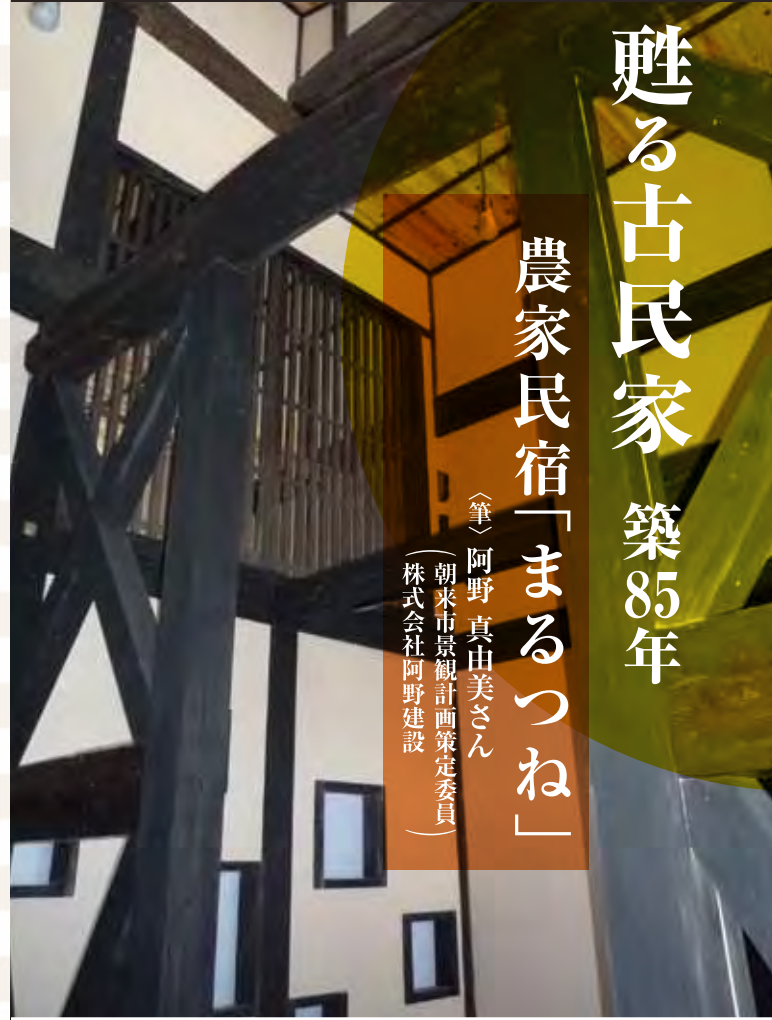


甦る古民家 築85年

農家民宿「まるつね」

〔筆〕阿野 真由美さん
 (朝来市景観計画策定委員)
 (株式会社阿野建設)



農家民宿「まるつね」黒田夫妻と出会ったのは、平成23年12月でした。いなか暮らし塾塾頭西垣氏の紹介で、生野町黒川にある、今は使われていない築85年の奥様の実家をなんとか活用したいとの依頼でした。

ご夫妻の「黒川のすばらしい自然をたくさんの方に知ってもらいたい」という熱い思いの裏にはこの家の主、奥様のお父様である故常二氏の「都会の人に農業や田舎体験をしてもらいたかった」という夢を叶える意味もあったようです。

打合せを重ねる度に感じるご夫妻の熱い思いになんとか応えたいと思っていた所、兵庫県古民家再生促進支援事業として認めて頂けることになりました。



「活かせるものは徹底して活かす」「大切なものは直しすぎないこと」を心がけ、平成23年12月のスタートから1年後、平成24年12月に完成しました。

使わなくなつて、放っておけば朽ち果ててしまう家が、人が集い、笑い声が聞こえる家に甦りました。止まっていた時計が、人の手でネジが巻かれ動き出すように、眠っていた築85年の家が、たくさんのお手伝いをさせて頂けたことをうれしく思います。

たくさんの方々のお力添えに感謝いたします。

後日談

今回、景観計画策定委員の阿野真由美さんに、景観や町並みなどを活かした取り組みの事例紹介をしていただきました。

先日、黒田ご夫妻からうれしい連絡がありました。オーブン前から早速「オオサンショウウオの写真を撮りたい」「螢の時期に宿泊したい」「結婚披露宴を兼ねて宿泊したい」等、予約が入っているそうです。

